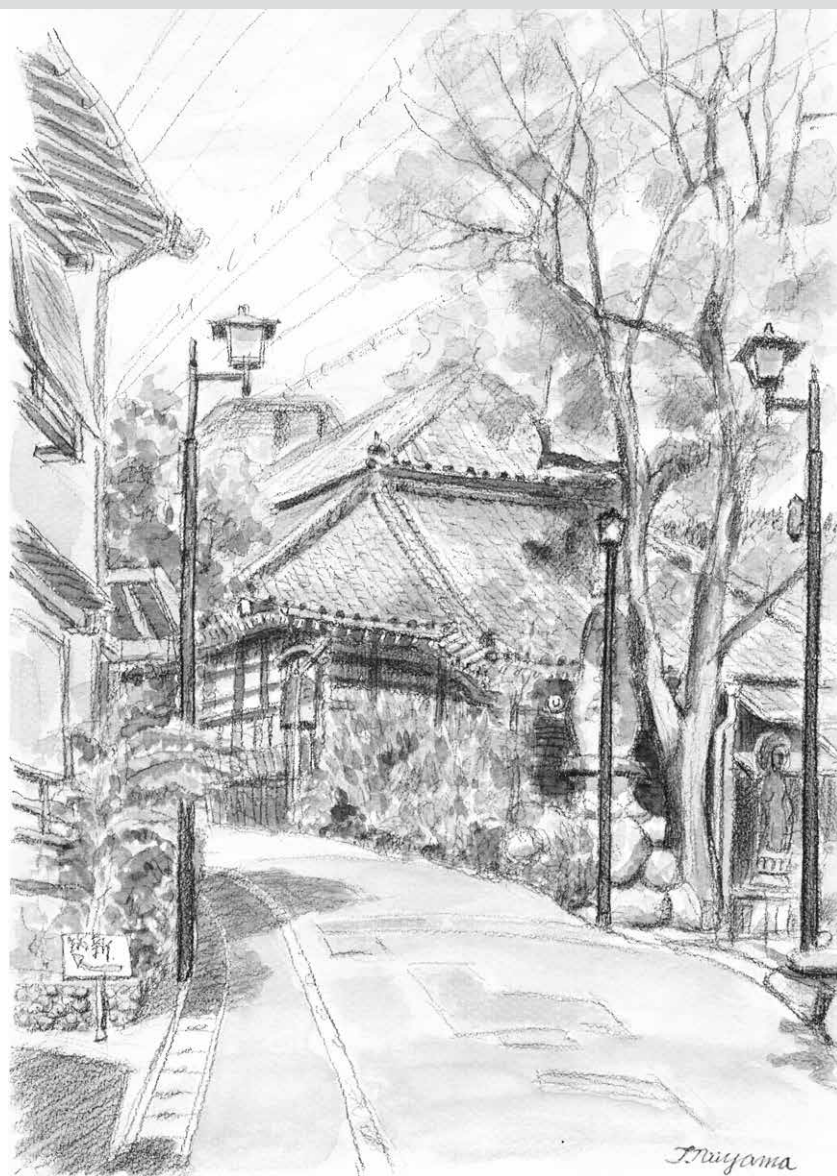


建築士

おおた

春季号

2023 NO 130



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

01 表彰受賞おめでとうございます	大分支部 石井 鏡成 日田支部 養父 信義
02 公益事業の成果	中津支部 中岩 学 大分支部 野口 浩平
06 女性部女子会報告	青年女性委員会共同代表 高橋 由美
08 関埼灯台登録有形文化財登録イベント	大分支部 小関 公香
10 全国大会「あきた大会」に参加して	別府支部 幸 孝文 宇佐支部 緑川 誠子
12 建築セミナーに参加して	別府支部 山本健太郎
13 建築セミナー報告	別府支部 小山 秀輝
14 書簡は私たちに何を伝えたいのか ～安政南海地震から学ぶ～	廣瀬資料館 園田 大
15 インフォメーション（支部便り）	臼杵支部 足立 洋平 大分支部 市野瀬康平 日田支部 櫻木弘三郎
19 我が街の建築士紹介	佐伯支部 福井 大輔 臼杵支部 山下 駄偉 豊後大野支部 坂本 肇
20 近況トピックス	中津支部 日高 雄介 高田支部 後藤 憲二
24 マイワーク	日田支部 友田 良 中津支部 中尾 忠廣 宇佐支部 栗林 尚人 高田支部 荒川 司
26 マイベストブック	大分支部 甲斐 啓大 大分支部 宮崎 裕 別府支部 中原 健 別府支部 重田 凌汰
28 マーポールの旅先日記	顧問 井上 正文
31 事務局だより	大分県建築士会事務局



■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

湯けむり坂

設計：別府支部 新山 俊則

表彰受賞 おめでとうございます。

今年度、大分県建築士会員より2名の方が国土交通大臣と大分県知事から表彰を受けられました。
両氏の建築士会における活動などをご紹介します。

国土交通大臣表彰

大分支部 **石井 鏡成 氏**

石井さんは、大分県建築士会において平成7年に理事に就任し、平成7年～平成12年まで大分支部長を務め大分支部会員の資質の向上、相互の親睦と交流を深める会の運営に取り組みました。平成13年～平成29年まで常務理事を務め、平成30年から副会長に就任し現在に至っています。

大分市の戸次本町街並み環境保全基本構想作成業務に参画し、基本構想の説明会、ワークショップの開催等、合意形成に向けての活動を行い、現在は地域のまちづくり協議会委員として街並みガイドの養成、シンポジウム開催など多岐にわたる活動に積極的に係わり、戸次本町街づくり推進協議会会長として地域の復興・再生に務められています。

これまで、第1回大分市活き粋町づくり賞、第12回都市公園コンクール事務次官賞、大分県豊の国木造建築賞最優秀賞などを受賞されています。



大分県知事表彰

日田支部 **養父 信義 氏**

養父さんは、大分県建築士会において平成11年に理事に就任し、平成18年から2期4年間副会長を務め、会員の技能の向上や会員相互の情報交換の活発化などに取り組み、副会長を退いてからも、現在に至るまで歴史的町並み再生や伝統的建築物の技術の継承に尽力し、後進の育成にも努められています。

この建築士会においても数多く寄稿され、士会員に情報提供を頂いています。

日田市文化財保護委員や日田市町並み保存審議会委員として活躍する傍ら、障害者支援施設である(NPO)五蘊の風を立ち上げ、地域に根差した社会貢献活動を行っています。

現在も、(NPO)本物の伝統を守る会 理事長及び日田小鹿田の里景観委員会委員を務められています。

これまで、日本建築士会連合会長表彰、大分県豊の国木造建築賞などを受賞されています。



中津支部 中 岩 学

中津市内の小学6年生を対象とした 「まちなみ歴史探検」事業について

中津支部の恒例行事となっている市内の小学校6年生を対象とした総合学習「まちなみ歴史探検」が令和4年10月から令和5年2月にかけて行われました。

まず、「まちなみ歴史探検」についての説明を行います。この事業は平成22年に始まり今年で13年目となります。当時の企画書によると、事業の目的は以下のような趣旨となっています。中津市には歴史や文化に培われてきた誇れる歴史・文化的資源があり、特に南部・北部校区(中津城周辺)には、福澤旧居や中津城等の中津市を代表する史跡・名所が多く残っています。しかし、アンケートを実施したところ50%以上の児童がこういった歴史・文化的施設に訪れたことがないとの事でした。そこで児童が中津城周辺をまち歩きし、「中津のこれまでの歩み(中津の歴史・文化)」に理解を深め、郷土を愛し誇りをもつ力を育むことにより、中心市街地の活性化にも寄与するものと考え実施されることとなったようです。



↑ 中津城

まちなみ歴史探検は、学校毎に日程・ルートを決め当日は20名程度を1班として班毎にボランティアガイド1名と建築士会から1名が配置されます。ルートは数箇所の必須ポイント(福澤旧居・中津城・大江医家資料館等)を經由し、その他の史跡・施設を回ります。



↑ 朝礼時に探検するルートを説明

引率を担当する小学校を選択できるとの事で、私は出身地の耶馬溪連合小学校を担当することにしました。現在の中津市は、平成の大合併(平成11年から政府主導によって行われた市町村合併)で平成17年に旧中津市と旧下毛郡が合併し、「新・中津市」が誕生しました。旧下毛郡の小学校は過疎化や少子化の影響で閉校した小学校が多くあります。耶馬溪町では私が小学生の頃には町内に小学校が6校ありましたが、現在は半分の3校です(私の母校も閉校しています)。6年生の児童数はこの3校を合わせても20名程度と少ないです。



↑ 中津城の石垣を説明

私は合併前に高校を卒業し県外へ出たので正直なところ、このまちなみ探検で訪問する福澤旧居や中津城、城下町はこれまで訪れたことがありませんでした。つまり私は旧中津市にある誇れる史跡等を詳しく知らないという事です。「新・中津市」となって15年以上が経過し、私自身もふるさとに戻り4年半が経過しましたが、自分自身のふるさと(旧中津市を含む)に対する知識の無さに恥ずかしさを感じ、まちなみ探検の案内当日まで時間を見つけ中津城・旧城下町周辺の歴史・まちなみを勉強しました。一緒にまちなみ歴史探検を行う児童は平成の大合併後に生まれています。つまり、私と同じ耶馬溪町出身でもふるさととは現在の合併後の中津となります。その彼らにふるさとの歴史や文化に興味を持ち理解を深めてもらえるよう準備することを考えました。

まちなみ探検の引率を担当する前に研修ということで支部の先輩が引率する日に同行しました。この同行では先輩が説明する箇所やポイントを聞いて良い事前学習となりました。



↑中津市歴史博物館での様子

いよいよ引率当日です。私たちの班は、中津城・円龍寺・赤壁合願寺・福澤旧居・豊後街道と食い違い交差点・大江医家資料館・中津歴史博物館等を9時～15時頃までの約6時間をかけて回りました。私と一緒に引率するボランティアガイドさんは大ベテランの方で、このガイドさんの歴史・街並みについての知識や児童を惹きつける話しに思わず私自身も聞き入ってしまい、私が説明するタイミングを忘れる程でした。事実、私の説明箇所3箇所の内2箇所をこのガイドさんが説明されました。ガイドさんの説明は私が準備したものより丁寧で児童にわかり易いものでした。恥ずかしさもありますが、大変勉強になりました。

ここで私の唯一の説明箇所となった旧城下町の「豊

後街道と食い違い交差点」について少し説明します。

旧城下町の豊後街道と呼ばれる通りには現在も江戸時代から引き継がれてきたまちなみが残されています。商家や町屋の建物は軒先の高さが一定で外壁の色等も統一感があり昔ながらの落ち着いた雰囲気があります。児童には、この景観は景観計画等の法規制を行い現在へと引き継がれていることを説明しました。

食い違い交差点とは大分市の方から中津城へと続く旧城下町の道の途中で、道が不自然に折れている交差点の事です。これは中津城の防衛機能のひとつで、この仕掛けは鍵の手(食違)と言われ、中津城へ向かい勢よく攻めてきた敵のスピードを落とす工夫がされています。この様な説明をすると、児童たちは熱心にノートにメモを取っていました。



↑中津藩家老生田家の門

全てのポイントを回り終えた後に「終わりの会」があり、数名の児童が感想を述べました。その感想の中に「これまで知らなかったふるさとの歴史を知れて勉強になりました」とありました。このまちなみ歴史探検をきっかけにふるさとの歴史・文化に興味を持っていただきたいと思います。

みなさんも是非、私のふるさと中津へお越しになって下さい。今回紹介した史跡だけでなく、美味しい食べ物や壮大な自然もご紹介します。



令和4年度 公益事業の成果

大 分 支 部

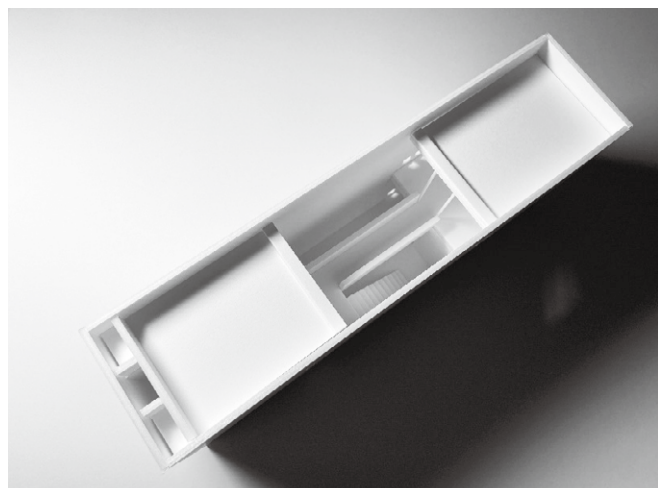
大分支部 青年部 造形班 野口浩平 建築模型製作体験について

大分支部青年部では、8月と12月の年間2回、『建築模型製作体験』を開催しています。令和元年から企画を始め、令和2年度より開催を始めました。

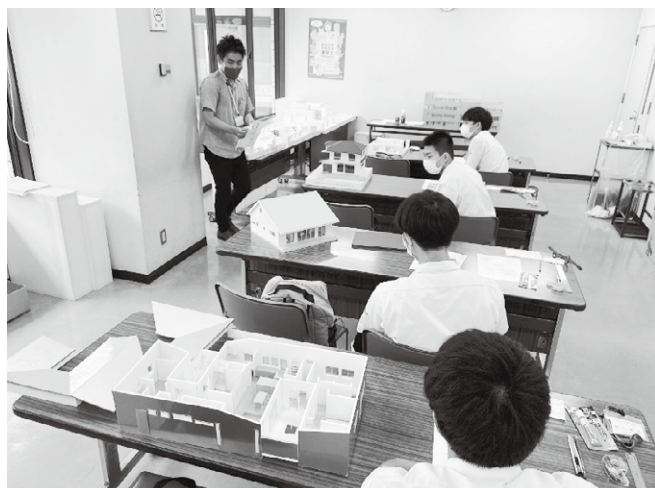
事業の内容としては、50分の1のホワイトモデルを製作するというもので、参加者は「安藤忠雄の住吉の長屋」、「東孝光の塔の家」、「菊竹清訓のスカイハウス」のいずれかを選び、時間内に完成させます。

冒頭、建築模型を設計業務の中でいかに活用しているかを説明するため、「松田周作建築設計事務所（SMAA）」を主宰する「松田周作氏」に協力頂き、レクチャーを行っています。その後、模型製作の実演と、練習課題として「5cmキューブ」の制作をします。

制作の時間は、5時間を予定しているため、1日かけて模型を作ることになります。参加者の中には、時間内に完成できない方もいらっしゃいますが、皆さん模型製作を楽しんでくれているようです。



安藤忠雄 住吉の長屋



令和2年8月22日(第1回)の様子



東孝光 塔の家



令和2年12月20日(第2回)の様子

企画の狙いとしては、模型をつくる作業を通じて、ものづくりの楽しさを伝えるとともに、建築がかたちとして現れる過程を感じてもらいたい。社会に出る前に、建築をより身近に体験することで、建築に携わることへの楽しさや、可能性を感じてもらいたい、と考えています。

企画当初は、建築の魅力を高校生・大学生に伝えることを目的とし、工業高校の生徒や、建築学科のある大学への進学を検討している、普通高校の生徒を対象と考えていました。しかし、開催を重ねるごとに、一般の方から参加希望があったことを受け、第3回目からは参加対象をフリーとしています。それ以降は、高校生だけでなく、小学生や中学生、60代の参加も見られるようになりました。現在では、多様な年齢層の方々が模型製作に集まる場として機能しています。



令和4年12月18日(第6回)の様子



松田周作氏による模型製作の実演



第1回開催後の集合写真



スタッフによる指導



第2回開催後の集合写真

建築女子会in佐伯～さいきの建築と食文化探求の旅～

青年女性委員会共同代表 高橋由美

2020年の8月末に竣工したさいき城山桜ホールをはじめ、佐伯城下の歴史と文学の道あたりの建物見学、船頭町の街並みを散策しながら「さいき」のさらなる魅力を発見し、建築女子の結束を固めるツアー

昨年の12月3日に建築女子会を佐伯市で開催しました。

参加者は会員17名、子供2名、非会員5名、合計24名でした。

ランチ

女子会にはランチが欠かせませんので今回もランチからスタートしました。

会場は美人女将がいる亀八寿司で、美味しいお寿司やスイーツを頂きながら参加者同士で交流を深めました。久しぶりの開催ということもあってか、おしゃべりが尽きませんでした。



歴史と文学の道散策

さいき観光ガイドの方に城下町佐伯国木田独歩館、汲心亭のお庭、薬医門、佐伯城三の丸櫓門等を案内していただきました。



さいき城山桜ホール 見学

佐伯支部の後藤さんに案内していただきました。



レクチャー&お茶タイム

女子会には3時のおやつが欠かせません。佐伯のスイーツショップ「LE PIA PARASOL (ルパン parasol)」のシュークリームとコーヒーをいただきながら佐伯支部の後藤さんと河野さんからまちづくりのお話を聞きました。



船頭町散策

引き続き佐伯支部の後藤さんと河野さんの案内で船頭町を散策しました。糺屋本店、宝来家旅館、チクタクテンポ、平岡屋 等を見学しました。

糺屋本店の浅利さんと宝来家旅館の染矢さんには船頭町の歴史についてお話していただきました。



さんかくワサビ 見学

さんかくワサビはゲストハウスで、古い木造建物をリノベーションしています。オーナーの中村さんに案内していただきました。



交流会

交流会は、船頭町近くにある「肴やはじめ」で開催しました。新鮮な佐伯のお魚をたくさんいただきました。



久しぶりの交流会とあってかここでも話が尽きない状況で、参加者同士が十分に交流できたと思います。

ついでに美土里橋を見学

スケジュールには入っていませんでしたが、開催数日前に宇佐支部の栢田さんからおすすめされた「美土里橋」を参加可能な者だけで見学しました。

「美土里橋」は昭和15年に海軍橋として建設され、昭和27年頃から工場専用線の鉄道橋として利用されていましたが昭和59年に廃止となり、昭和63年頃から歩道橋として再利用されているようです。

橋脚は老朽化が進んで危険な状態でしたが形状が大変興味深かったです。



建築女子会は、毎年開催する予定でしたがコロナ禍で思うようにいかず3年ぶりの開催となりました。今回は、イベント参加が久しぶりの会員、子連れ会員、初めてイベント参加する会員、非会員の参加があり、大変意義のある会になったと思います。

開催にあたりご協力いただきました佐伯支部の後藤さんと河野さん、宇佐支部の栢田さんと光井さんには大変感謝しております。

今年は県北で開催したいと考えております。

関埼灯台登録有形文化財登録イベント

大分支部 小 関 公 香

秋晴の天候に恵まれた令和4年11月6日(日)に、(公社)大分県建築士会主催で「関埼灯台の登録有形文化財」の登録記念イベント～関埼灯台と佐賀関のまちづくり～を開催しました。

明治34(1901)年に初点灯され、鉄造灯台として全国で4基可動しているうちの1基である貴重な関埼灯台を地域活性化の核にしたいと大分市文化財課からの委託を受けて令和3年初めよりヘリテージマネージャー(以下HM)を中心に調査をしてHMチームリーダー 芳山憲祐氏のまとめで提出後、昨年令和4年3月に文化庁に答申されました。調査中に大分県出身で灯台の書籍「灯台から考える海の近代」を執筆されている金沢大学准教授の谷川竜一氏と灯台女子として雑誌「灯台どうだい?」編集長の不動まゆり氏を大分にお呼びして講演・シンポジウムをしようという話になり、ちょうど文化財登録されたあとの11月1日「灯台記念日」近日に開催することになりました。



午前中の第1ステージは現地見学会で、大分海上保安部とヘリテージマネージャー共同で現地の説明を行いました。年一回の灯台公開日と重なり、約170名の来場者に見学していただきました。県外からの来場者も多い中、駐車場のスタッフは地元佐賀関支部に協力して誘導していただきました。宿舎跡に歴史を辿るパネル展示、内部には各地域の灯台の資料が展示されていました。地元佐賀関の小学生は佐賀関支部の渡邊豊基氏の説明で歴史的背景や概要を聞き、親子で興味深く見学している姿が印象的でした。



午後の第2ステージは会場を佐賀関小学校体育館に移して、講演とシンポジウムの開催です。一般の方を含む約90名にご参加いただきました。会場には、佐賀関のまちづくりの一環としての取り組みである日本文理大学の学生による「流木アート」展示や「貝殻風鈴製作」ワークショップ、大分海上保安部による「大分県内の灯台」パネル展示、佐賀関支部による「今昔ものがたり」展示、大分県内の灯台3基の同縮尺の「ペーパークラフト」など様々な催しを開きました。



講演はまず谷川竜一氏より「灯台と海の近代—歴史的公共財としての価値を再考する」と題して、灯台の歴史の海外からの流れ、現在の大分の文化財の位置づけなどを分かりやすく説明していただきました。専門が近代建築史という事で日本の近代化と灯台の関係や佐賀関から佐伯までの「海部(あまべ)郡」という地域に着目しての生活世界と歴史をご説明いただき、近年は豊後土工の研究にも力を入れられており、海部郡の活性化につながる話など興味深い話ばかりでした。

次に不動まゆう氏より「まちのシンボル！灯台を利活用して未来を照らそう」と題して、世界の灯台を訪れ雑誌を編集される中での体験した灯台の魅力や国内外での灯台の活用例や灯台利活用の考え方を沢山の写真と一緒に紹介していただきました。ヨーロッパではホテルやレストランとして、日本でもグランピングやカフェとして灯台での「心地よい時間を創出」される事例は印象的でした。普段は音楽大学の学芸員をしながら、自費で出版される精力的な活動をされるお話は多くの方に灯台愛が伝わったのではないかと思います。前日の東京での「海と灯台のサミット2022」登壇後、最終便の飛行機で大分に駆けつけてくださいました。



その後は、シンポジウムとして大分大学教授で建築士会副会長 鈴木義弘氏のコーディネートで両講師に加えて大分市土木建築部部長 吉田健二氏と大分海上保安部次長 安部節郎氏に登壇していただき始まりしました。様々な問いに対して各専門分野からお答えいただき、最後は佐賀関のまちづくりに対する考えも提案していただきました。その後、会場からの質問コーナーでは地元の方やまちづくりに取り組む方から今までの活動と講演を聞いてのこれからの展望、地域に自生するヤブツバキを活用する話をお聞きしました。最後に文化財登録のための調査や

図面作成、報告書の取りまとめをされました芳山憲祐氏より、関埼灯台の登録されたポイントや調査背景、今後のまちづくりをお話していただきました。



夕方は、講師とスタッフ・関係者で懇親会を行い今後の灯台活用への更なる話に花が咲きました。今回は登録記念という事でこのようなイベントを開くことができ、これをきっかけに「灯台を核とするまちづくり」の未来を願う気持ちは皆同じでした。



次の日は不動まゆう氏を杵築市「守江港灯標」の経由で大分空港まで送迎をしました。明治33年に初点灯された県内最古の標識として関埼灯台より歴史があるということで、こちらもまちづくりの素材としての活用が期待されます。



全国大会「あきた大会」に参加して

別府支部 幸 孝 文

今回の建築士会全国大会「あきた大会」には、大いに期待することがありました。

九州に住み、毎日が現場と会社の往復を繰り返し数日のまとまった休日もとれない私には、東北地方に行く機会が無く、文化を含めて、暖かい九州から寒い東北の違いを体験する事が無かったからです。

また、大陸から運ばれた大気が日本海を経て出羽山脈にぶつかり、その山から湧き出た清水がおいしいお酒を造るとのこと、おそらく沢山のおいしいお酒が飲めるであることも楽しみでした。

早朝6時から別府を出発し、大分空港発、羽田空港行きが7:50、羽田空港を10:35に発ち秋田空港へ到着したのが11:45、ホテルへ寄り15:00から始まる記念式典までに昼食と周辺を散策しました。

すぐ近くには建築家「安藤忠雄」の設計した「秋田県立美術館」があり、これを見学。



中には「藤田嗣治(レオナルド・フジタ)」の作品が多く展示してあり、秋田の祭りなどを中心にした展示に美しさを感じました。

会場となる「あきた芸術劇場 ミルハス」は、想像以上に大きく、充実した空間を備える建物でした。

そして記念式典、全国大会テーマは「『建築』で挑戦！郷土のこれから～け、け、けの秋田でまずかだれ～」でした。

その思いの伝わる展示や内容で、数年前、全国大会「おおいた大会」の準備を経験した私にはその苦勞が感じられました。

今回は新型コロナウイルス感染症のパンデミックもあり、我々とは違い困難を極めたと思われます。

その式典で圧巻だったのは「なまはげ太鼓」でした。



『うおお～ 悪りい子はいねか～』となだれ込んできた「なまはげ」には、大人の私も凄い迫力を感じました。これなら、テレビでよく見る『泣き叫ぶ子供』の気持ちがよく分かります。

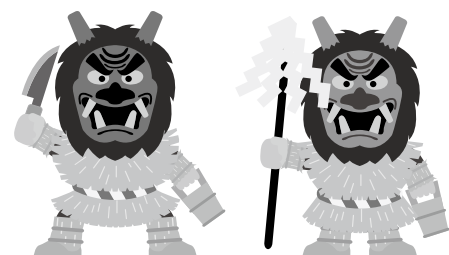
そしてこの「なまはげ」達は「大交流会」にも参加して、多くの会員が記念写真を撮っていました。

翌日からは、「別府支部・宇佐支部」の一同で『仙北市角館(かくののだて) 伝建地区』を見学。

広い道の両脇には、板塀と楓の垣根がある『内町』と呼ばれる武士の居住区を見学。

それから『外町』と呼ばれる町人の居住地を見学しましたが、その中で煉瓦蔵の『安藤醸造本店』には蔵座敷とした居室で結婚式を挙げたと、女将と思われる女性の方から内部や小屋裏までを見学させていただき、充実した『オリジナルエクスカッション』となりました。

来年度は「模型の聖地 静岡県」模型好きの私としては、今から楽しみにしています。



全国大会「あきた大会」に参加して

宇佐支部 緑川 誠子

令和4年10月13日から10月15日で開催された建築士会全国大会あきた大会に参加しました。

コロナ感染症の拡大が心配され始めた頃に建築士会に入会した私にとって、これまで建築士会の活動に参加する機会が殆どなく、全国大会も初めての経験となりました。10月14日の朝5時半、辺りが真っ暗な中、自宅を出て、宇佐支部の皆さん(私を含め4名)と共に大分空港へ。大分空港で、別府支部の方と合流し秋田県へ向けて飛び立ちました。秋田県へは羽田空港を経由し約4時間の空の旅です。

秋田市内に入り昼食を済ませ、最初に訪れたのは、会場近くにある秋田県立美術館(設計者:安藤忠雄氏)。一緒に見て回るのは、経験豊富な建築士の大先輩の方々ですから、展示品の鑑賞をするというよりも、建築物の見学会となり、皆さんの批評を聞きながら、建物を見て回るのとはとても面白いです。疑問を投げかければ、教えて頂くこともあり、とても勉強になりました。もちろん、展示品も秋田の文化を学べる作品が並んでおり、美しいものでした。

続いて、記念式典が行われる会場「あきた芸術劇場ミルハス」に向かいました。当会場は、新たな秋田の文化芸術の創造拠点として令和4年6月に開館したばかりの新しい施設です。「ミルハス=見る蓮」の名のとおり、夏には美しい蓮の花が会場周辺のお堀に広がるようです。

会場前の飲食コーナーでは、美味しい秋田の地酒が振舞われ、全国の建築士の方々が、芝生の上で談笑し、交流を深めておりました。

式典の後の大交流会は、人の多さに圧倒されました。プロのなまはげによるパフォーマンスや豊富な種類の地酒の飲み比べ、きりたんぼ鍋等の美味しい郷土料理

もあり、秋田県の魅力を味わうことができました。また、コロナ禍で会うことが叶わなかった方や大分大学を卒業して以来の先生にも、遠く離れた秋田の地で再会できたことが本当に嬉しい思い出となりました。

次の日は、エクスカーショ(地域交流見学会)には参加せず、皆さんと一緒に貸切りのジャンボタクシーで、秋田市の東にある角館の武家屋敷に向かいました。角館は約400年前に造られた城下町で、道路の幅や曲がり角は、



当時のまま残っています。特に武家屋敷が並ぶ大通りは、とても道幅が広く驚きました。午後からは、田沢湖を一望できる展望台に寄って、田沢湖駅(設計者:坂茂氏)を見学し、秋田市内に戻りました。

最終日は、空港に向かうまでの自由時間で、秋田市内の散策をしました。川反飲食街と呼ばれるエリアで、大分県という都町

のような繁華街です。この辺りも道幅が広く作られており、江戸時代に整備された街区のままで、当時の賑わいを感じることができます。秋田市内の中心部は平坦で歩道も広く、人々が集まれる広場も点在しています。また、まち歩き用の地図やアプリもあり、周遊しやすい環境が整備されていることも印象に残りました。

大分県へ帰る道中では、早くも、来年(令和5年度)の全国大会がある静岡県の話で盛り上がり、来年も是非一緒に参加したいと思います。

建築士の皆さんとの3日間は、見て、触って、食べて飲んで…ととても刺激的でしたし、本当に勉強になりました。行程の計画、諸々の手続き等、多くの準備をしてくださり、またお誘い頂いたことを感謝致します。本当にありがとうございました。



建築セミナーに参加して

別府支部 山本 健太郎

令和4年11月26日(土)から27日(日)にかけて、豊後高田市香々地町の「少年自然の家」で行われた、建築セミナーに参加しました。県内の建築士が集まり、各分科会や懇親会を通じて交流を深めました。

26日午前に行われた芳香蒸留水体験では、専用の道具により葉っぱから蒸留水を採取する過程を体験したり、約10種類の香水を使って独自の香水を作りました。組み合わせや分量によりそれぞれ異なる香りとなり、貴重な体験ができました。

午後は基調講演と3つの分科会があり、私は竹かご制作に参加しました。幅5mmの細い竹を編んでいく作業でかなり難しく、工程ごとに先生に聞く・少し作ってもらうの繰り返しで、どうにか完成できました。その後は懇親会、2日目は朝食後に解散で無事に帰宅できました。



今回のセミナーは豊後高田支部・別府支部の共同で事務局を行い、裏方の仕事も経験できました。当日のみですら各イベントの準備から片付けまでに気を配ることが多く、開催までの準備を考えると、かなりの作業になることを痛感しました。また久しぶりに大勢で集まったのイベントに参加でき、楽しい思い出になりました。

第7回おおいた建築セミナーin高田

(Hosted by Beppu)

別府支部 小山 秀輝

7回目となる「おおいた建築セミナー」ですが、担当が別府支部でしたので、その企画者側目線で報告いたします。

タイトルを見ると、別府支部担当なのになぜ「高田」?「Hosted by Beppu」?となると思います。今回別府支部で建築セミナーを企画するにあたって、まず出たのは、「別府にはいろんな機会に来てもらっているの、他支部と連携して他市で開催したい。」というコラボ癖でした。そこで以前より絡みかかった高田支部に声をかけさせてもらったところ、為成支部長、荒川青年部長を始め高田支部の方々に快諾をいただき、このような形で開催することとなりました。

そんなノリで始まったコラボ企画ですが、内容を考える上で大きなテーマが3つありました。

1つ目は「高田と別府のつながりを知る」ことです。今回『屋山城主吉弘統幸と大友氏の興亡』と題して榮法寺前住職の大畑雅英様に講演いただきました。そこで、別府市にある吉弘神社が、吉弘統幸に由来する神社であることを初めて知りました。このように身近なものが実は遠く離れた土地とつながっているということはたくさんあるのではないかと思います。そして、そこには歴史的、地形的な背景があり、地政学的な観点から都市のつながりを知ること自分たちの町の新たな発見につながるのではないかと感じています。

2つ目は「高田と別府の文化をまじわらせる」ことです。当初は別府の伝統的工芸品である別府竹細工と高田の蕎麦打ちのコラボ企画を考えていたのですが、一日で収まる内容ではなかったため、豊後高田市で採れた植物を使った芳香蒸留水と別府竹細工のアロマディフューザーづくりの企画（芳香蒸留水WSに参加できない方は、竹細工の駄菓子籠づくり）となりました。それぞれの土地の文化、特色、材料、技術が、用途に応じてまじわることで新しい価値観が生まれる、そんなきっかけの場になればと思っています。

3つ目は「楽しむ」ことです。当たり前のことかもしれませんが、何事も楽しんでやっていることはクオリティーが高いと思います。今回のフィールドワークでは、チームに分かれて「昭和の町」をインスタントカメラで撮り、それを掲示して、「いいね」シールを最も多く貼ってもらったチームが優勝とい

う企画にしました。イメージは昭和版インスタグラムのなもので、普段Instagramを使われている方は100%アナログでその違和感を楽しんでもらい、Instagramを使ったことない人はInstagramマー気分を楽しんでもらえた…かどうかはわかりませんが、クオリティーは高かったと思います。



最初に別府支部の「コラボ癖」と書きましたが、別府支部では会員数が少なく支部単体で活動ができない地域と広域的な連携を図ることで相乗効果を生む活動ができるのではと考えております。今後も建築セミナーに限らずそのような活動を考えていきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今回のセミナーにつきましては、高田支部の方々の多大なご協力により開催することができました。この場をお借りしまして、心よりお礼申し上げます。また、講演いただきました大畑様、香りのWSをしていただきましたSUIGENのアントン様、竹細工のWSをしていただきました伝統工芸士の大谷様、この企画にご尽力くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。

書簡は私たちに何を伝えたいのか ～安政南海地震から学ぶ～

公益財団法人廣瀬資料館 学芸員 園田 大

安政元年（一八五四年）十一月五日に発生した安政南海地震は大平洋沿いの各県と広範囲に及びました。大分市滞在の廣瀬久兵衛（一七九〇年～一八七一年）は地震の被害をこうむり、書簡で日田廣瀬本家に報告をしました。今回は安政元年の源兵衛宛久兵衛書簡二通から被害状況をみましょう。

■書簡と新聞の違い

簡潔ですが書簡と新聞には大きな違いがあります。新聞は活字で全国に配布されるものに対し、書簡は月日・差出人・受取人が記され、唐突な内容ですが、逆に二人の間では十分に理解でき、新聞にはない情報もあります。私達はネットで、江戸時代の人達も書簡と新聞で情報の収集をしました。この行為は今も昔も変わらないのです。

■安政元年十一月六日夜付 廣瀬源兵衛宛 廣瀬久兵衛書簡

この書簡は前日五日の地震被害が記されています。

1. 五日十八時頃に地震が発生し城下町と寺は潰家に銀札場と筵会所は半潰となる。地震は六・七度と今朝からは三度も地震が起き、地面がさけて心配です。前代未聞です。
2. 被害は噂では日出・杵築・佐伯にも及び、大分・別府は大変な状況です。
3. 死者数は不明です。この書簡は五日に発生した地震を、久兵衛は限られた時間で情報収集をして日田に報告をしました。この書簡により日田では災害情報と被害範囲を確認し、廣瀬家では情報共有をしました。

■安政元年十一月八日十時付 廣瀬源兵衛宛 廣瀬久兵衛書簡

この書簡は十一月七日の地震での被害を報告します。

1. 昨日の大地震で城は崩れ、銀札場と筵会所も全壊いたしました。何も対処できません。
2. 城下町では祇園山に騒いで登りました。
3. 逃げた人達は廊下橋の仮小屋に住居し、今朝から庄下橋前に沢山の釜で玄米を炊き始めました。
4. 大分の浄土寺・臼杵・佐伯・別府は激しい被害です。特に別府の扇山辺りは山がひらきました。

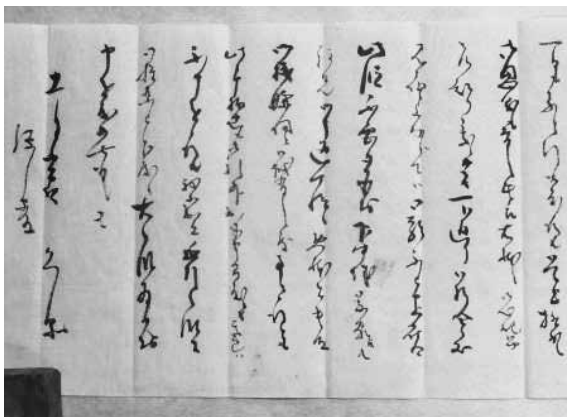
この書簡では2回目の地震を報告し、特に銀札が全壊し、住民達は祇園山に避難をして玄米を炊いたとあります。大分市周辺の状況は臼杵・佐伯・別府市扇山がひらけた旨を報告しました。これにより第一通よりも詳細な情報が日田に報告されました。

この地震は豊予海峡地震と称され大分県と愛媛県が多大な被害を受けました。

書簡は新聞と違って生々しい情報が記され、今回の二通も地震の情報が詳細に記されています。昨今はパソコンを使用したメールが主流となりましたが、この時期に時間をかけて書簡を書いてみては如何でしょうか。



廣瀬久兵衛肖像(廣瀬資料館)





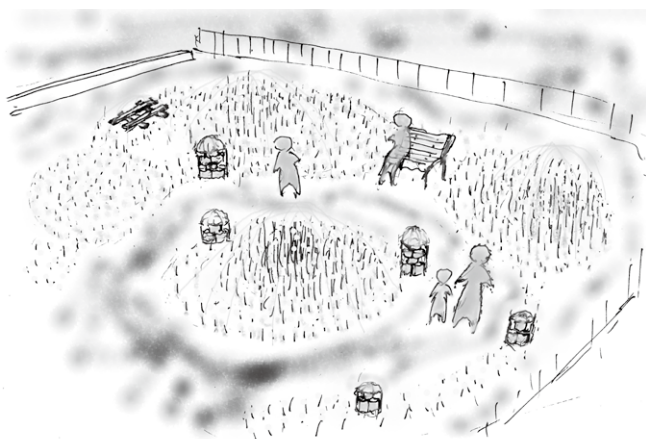
うすき竹宵に参加して…

臼杵支部 足立洋平

わが町臼杵市では皆様ご存じの通り、竹ぼんぼりの明かりで様々な演出を施す「うすき竹宵祭り」が毎年11月の初旬に行われます。

町八町を中心とした道路を竹ぼんぼりで照らす他、敷地広場等を利用して参加団体が竹オブジェを作成する竹オブジェブースがあります。臼杵支部としては、これまで正式にうすき竹宵に参加はしたことがなかったとの事ですが、今回県建築士会青年委員会がオブジェ製作に参加するとの事で、臼杵支部としても応援をさせて頂きたいという形で参加させて頂きました。

大分支部松田さん、市野瀬さん、宇佐支部光井さんをはじめ、臼杵支部有志も集まりオブジェ製作会議の始まりです。皆初めてで右往左往したところもありましたが、何とかテーマ「庭園」が決まりオブジェの内容も「初参加なので、基本形の型をとにかく作る！」という事になりました。本数は？4000本？1200本？最終的には800本。



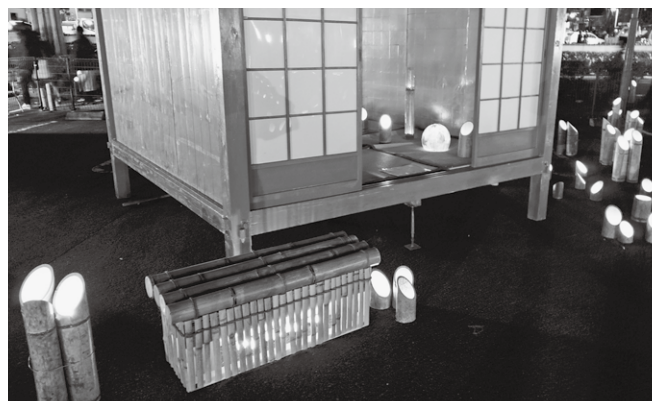
上等です！また、臼杵支部伝統(?)の黄金の部屋も出動することとなり、準備万端です。

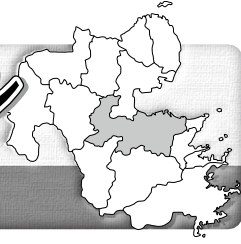
当日はたくさんの方が設置作業に来てくれ、スムーズに設置完了し点灯時間です、、、が、初日は風が強くとめては消え、点けては消えの繰り返しで2



時間程格闘しておりました。

風も落ち着き、ようやく火も落ち着いてきた頃に、般若姫行列が私たちのブースのすぐ横を通過したり、人通りも増え、本格的に竹宵モードに突入です。見物の皆様が自分達のブースを見て下さる様子を見ると、製作から段取り・設置まで色々大変でしたが、全て報われた気がしました。今回で26回目の竹宵という事で、他のブースの方は何回も経験しておられるので、オブジェも1工夫、2工夫しており、見栄えが素晴らしかったです。しかしながら我々も初参加にしては頑張ったのではないのでしょうか？何より、支部間を超えて、皆で共同作業が出来ただけでも、今回参加した意義があると思えました。また、地域貢献という観点からも大変有意義な活動であったと思います。





～しきどプロジェクト～ 敷戸団地のまちづくり

大分支部青年部まちづくり班 市野瀬 康 平

大分支部青年部まちづくり班では2020年度にしきど名店街にベンチを設置したことがきっかけで、敷戸団地の再生の研究をしている「大分大学理工学部(柴田研究室)」及び、敷戸団地の地域活性化に取り組んでいる「NPO法人小さな手」と連携して敷戸名店街ビルを地域住民のサードプレイス及び交流の拠点として整備しているところです。

同ビルの所有者である住宅供給公社から、1階の空き店舗を大学との協定締結により貸してもらえることとなったので、「しきどベース」と名付け、今年度はこどもの居場所づくりをテーマとして改修を行いました。

改修は地域住民と一緒にを行うワークショップ形式で行い、2022年9月からは毎月第2土曜日に地元の小学生から高校生及び一般住民と一緒に実施しています。



2022.4 改修前の空き店舗



2022.5.21 電気工事ワークショップ(以下、「WS」)
照明とコンセントを設置。地元の小学生親子連れと一緒に壁に配管のビス打ちをしました。(8人参加)



2022.6.18 ベンチ塗装&立て看板作成WS
敷戸名店街ビルのアーケード部分に設置した木製ベンチの塗り替えを行いました。(15人参加)



2022.7.9 しきど青空マルシェ(木工、漆喰とうろう)
しきどベース内で使う机やしっくいであらうろを作りました。(30人以上参加)



2022.8.2 入口カーテン設置WS
入り口部分にシャッターしかないのので、透明のカーテンを設置しました。(5人参加)



2022.10.10 空間デザインWS
しきどベース内をどのような改修をしていくか、小・中・高の子供たちと考え、次回以降のWSで実現していくことにしました。(26人参加)



2022.11. 東面壁塗装WS
麻生塗装さんに協力していただき、東面の壁を塗りました。(25人参加)



2023.2.10 しっくい工場見学
壁に塗るしっくい材の生産工程を学ぶため、津久見市の(株)丸京石灰の工場見学を行いました。(22人参加)



2022.12. 移動式小上がり作成WS
約1m角の畳がついた小上がりにキャスターを付けたものを2基作成しました。(20人参加)



現在の様子2023.1.15
しきどベースを週に2日、大学生が当番となって開放しており、小学生が放課後、宿題をしにやっています。小あがりの畳の上のこたつが居心地いいようです。また、一緒に活動している大学生の一人が、しきどベースによる子供の居場所づくりに関する卒業論文を書くことになっています。

今後の予定

2023.3.11 西面壁下地作成WS

2023.4.8 西壁しっくい塗りWS

2023.5以降 床、天井の作成予定

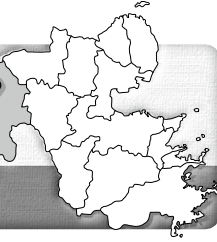
来年度、しきどベースの改修を完了させた後に、地域の住民が気軽に交流できる空間とするため、店舗の運営や人が集まるしくみを「しきど多世代シェアハウス会議」において検討しています。



2023.1.14 室内棚作成WS
室内を整理するために、棚を作成しました。(17人参加)



2022.12.15 第4回しきど多世代シェアハウス会議



第13回日田の木と暮らしのフェア ～折り紙建築～

第24回住宅セミナー 日田の木をもっと知ろう～健康な家づくり～

日田支部 櫻木 弘三郎

日田の基幹産業は林業、木材産業です。林業や木材製品を見て触れて楽しむ。30を超える企業や団体が協力して行う催し、それが日田の木と暮らしのフェア。今年で13回目の開催となります。建築士会日田支部もこれまでと同様にブースを出展し、折り紙建築と昔ながらの大工道具や木組みの展示を行いました。



当日は幼児から大人までたくさんの申込みがあります。例年はいくつかの課題を用意しているのですが、今回は比較的簡単な「ミコノス島の教会」に絞りました。12月の開催でしたので教会からクリスマス連想のリボンをつけたり、サンタの絵を描いたりしてクリスマスカードに。いつもより華やいだ雰囲気になりました。思いがけない工夫やこだわりがあって、子ども達のお手伝いをしていて楽しかったです。



折り紙建築はもうずいぶん長いことやっているの
で、馴染み深い豆田の街並みとか隈の川沿いとかの
課題を用意できたら、より一層意義あるものになる
のかなと思いました。

令和5年2月25日「日田の木をもっと知ろう」を
テーマに第24回住宅セミナーを開催しました。コロ
ナ禍の影響で久しぶりの開催となりました。

当日は会員と一般参加者合わせて30人程の出席が
あり、町おこしグループ「日田林家」の高村氏、田中氏、
合原氏より林業と木材産業についてご講演頂きました。



どのように木を育て木材製品になっていくのか、
知っているようで意外と知らない木のこと森のこと。

木は子どものように手がかかる。苗木は鹿に食わ
れぬようシェルターで保護し、それから10年くらい
は下草刈り、つる切りをしながら育つのを待つ。太
く大きく成長させるため枝打ちや間伐を行い、住宅
用の木材に育つまで50年。たくさんのひとの手で、
いくつもの行程を経て、馴染みの家を建てる材料に。

ひと、時間、環境……いろいろな形で木は「巡り」
「繋ぐ」 中津江の宮園津江神社の御神木。500年前、
日田地域で初めて植栽された杉だという。春の陽気
に誘われるまま、
ちょっと山奥ま
で足を伸ばして
みようか。

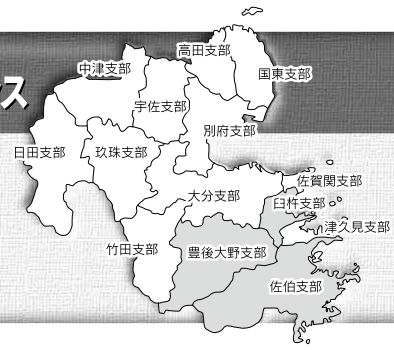


PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★氏名 福井 大輔
- ★生年 昭和50年
- ★勤務先 ジーエルホーム有限会社
- ★趣味 ゴルフ、音楽鑑賞

★将来の夢、モットー等

関東で施工管理の仕事をしていましたが、2017年に佐伯市にUターンし、現在は父が経営する建売住宅販売会社で設計業務を担当しております。2021年に一級建築士を取得し、同年に建築士会に入会させていただきましたが、コロナ禍で会員の皆様と交流ができないまま3年目となりました。今後は、士会の活動に積極的に参加し、自己研鑽とリアル交流ができればと、切に願うところです。微力ながら、建築士として地域社会繁栄発展に貢献していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



福井 大輔 (佐伯支部)

- ★氏名 山下 駄偉
- ★生年 平成7年
- ★勤務先 山下建築
- ★趣味 バイク、釣り、居合、神社仏閣巡り

★将来の夢、モットー等

臼杵市で大工として建築業に従事している山下と申します。

父親と共に木造住宅の新築、リフォームを専門に行っております。建築業に従事して5年目になりますが、自社で設計、現場施工を行える人材になれるよう日々勉強しております。

私自身は、まだ知識も浅く未熟であるため、建築士会での活動を通じて、建築の技術や知識を深めていきます。今後とも宜しくお願致します。



山下 駄偉 (臼杵支部)

- ★氏名 坂本 肇
- ★生年 1971年7月24日
- ★勤務先 一級建築士事務所even
- ★趣味 ドライブ・カラオケ・プチ旅行

★将来の夢、モットー等

夢は50歳を過ぎましたので現実を見据えて信頼される設計に取り組むことですかね。モットーとして挙げるなら社会貢献です。



坂本 肇 (豊後大野支部)

近況トピックス

「建築士として、 一人の地域人として」

中津支部 日 高 雄 介

大分県各地の街を紹介する我が街紹介の記事が前号で終了し、「近況トピックス」という新企画が始まる事になりました。

建築士の方々が日々どんな暮らしをされていて、どんな事を感じられているかを知れると、団体の魅力の奥行きが増すような気がしています。まずは言い出した私を書かないと始まらないだろうと思い、近況を書かせて頂く事にしました。

さて、まずは私日高がどんな人間かをお話ししなければ近況だけを話しても伝わらないと思いますので、簡単に自己紹介させていただきます。

建築士会中津支部に所属している日高雄介と申します。元々は大分市に住んでいたのですが、2017年にそれまで勤めていた設計事務所を退職し、中津市の耶馬溪町に引越してきました。



引越して来た頃の耶馬溪の風景

耶馬溪に住んで6年目になりますが、最初の3年は耶馬溪の地域おこし協力隊という仕事をさせて頂き、2020年に建築士事務所登録をして自分の仕事を始めました。

大分から耶馬溪に引っ越して始めの頃は、こんな山奥に住んで仕事があるのかどうか、全く計算や戦略のようなものも無く不安も大きかったのですが、運良く地域で動きのあったグリーンツーリズム(農家民泊)の立ち上げの仕事に地域おこし協力隊として携わらせて頂き、自分自身の建築士としての専門性をPR出来る場があった事で「建築士の日高」という認識を地域の皆さんに持って頂けた事が大きかったなと今は感じています。

2020年に地域おこし協力隊の任期が終わった訳ですが、その後も様々なプロジェクトのお声掛け頂けるようになりました。



初めて建築士としてお仕事をさせて頂いた
農家民泊「みどりさん家」

最初に「最初の頃はこんな山奥に住んでいて仕事があるのかどうか不安も大きかった」と書かせて頂きましたが、この数年で私の気持ちは大きく変わってきました。

それは、建築士の日高としてだけでなく、耶馬溪に住む一地域人としての日高でもありたいと考えるようになった事です。20代の頃を振り返ると、自分には何が出来るのか、あの人はあんなに頑張って凄い成果もあげているのに自分とは自分自身の能力ばかりに目がいって苦しい事も多かった気がします。

耶馬溪町に引っ越してきて、地域の素敵な方々との交流の中でこの人達と何が出来るのだろうかと少しずつ変化していったのだと感じています。

生き方の主語が「私」から「この人達と」に変化してきたとも言えるのかも知れません。

独立して最初の頃に耶馬溪のデザイナーである福田まやさんにお声掛け頂いた「耶馬溪トンネルホテル」という開通したばかりのトンネルをジャックして、3日間限定で耶馬溪のロケーションや食を楽しんで頂くプロジェクトでは旅館業法や消防法も関連する為、建築士としての専門的な仕事もさせて頂きましたが、地域の方々にお声掛けさせて頂き運営もさせて頂きました。

ご参加頂いた方にも大変好評で様々な難問があるイベントでしたが福田まやさんの強い思いや地域の方々の様々なご協力により達成できた素晴らしい企画でした。



耶馬溪トンネルホテル



地域の食材を使った料理

去年は旧平田郵便局という大正時代から残る旧郵便局を「地域の人達が集まって来たり、仕事ができる場所にする」というプロジェクトにお声掛け頂き、地域の様々な方や移住してきたクリエイティブディレクターや地域の大工さん等と一緒に半年かけてリノベーションするお仕事をさせて頂きました。私自身の自宅

(事務所)の近所という事もあり、けっこうな頻度で現場に通い大工さんや地域の方、お店を利用する予定の方々と一緒にお仕事をさせて頂きとても良い経験になりました。オープン後も、足繫く通わせてもらっていて、外から耶馬溪にくる方と会う場所や打ち合わせの場所として活用させて頂いています。



旧平田郵便局の外観



漆喰塗りワークショップの様子

耶馬溪に引っ越してきてから今までで、自信を持って今が一番楽しくなって来ていると思います。それは自分自身を建築士としてだけでなく、「耶馬溪に住む一人の地域人」と思えるようになった事が大きいと思います。これからも地域の一人として「この人達と一緒に何が出来るだろう」と考える事を忘れずに生きていきたいと思う、そんな日高の近況でした。

何だか、近況というよりは我が町紹介のような記事になった気がしますが、会員の皆様の近況を次号以降楽しみにしていますので、寄稿をどうぞよろしくお願い致します！

環境変化を楽しむ日々

高田支部 後藤 憲 二

令和4年4月から日田土木事務所に転勤になり毎日車通勤です。豊後高田市の自宅から日田土木事務所まで中津市経由で約70kmです。日田土木事務所から70km西に進むとなんと大分県、福岡県、佐賀県に跨り佐賀県庁の先まで行ける。そう考えると中々の距離だなと思うが通勤途上には本耶馬溪、耶馬溪、山国と景勝地があり、四季折々の景色を楽しみながら運転しています。そろそろ梅や桜の開花時期を迎えるので楽しみにしています。

途中の耶馬溪町宮園にある雲八幡神社は狛犬ではなく狛カッパ?がいます。



7月にはカッパ祭りがあり、2時間ほど年休を取り見学しました。通勤途中で気になったところに立ち寄り、テレビでよくある『ぶらり途中下車』的な楽しみがあります。



日田への通勤には冬用タイヤの準備が欠かせません。11月の下旬にスタッドレスタイヤに履き替え備

えましたが、今年は雪がよく降り12月、1月とたっぷり雪が降り積もって通勤経路が通行止めとなって迂回していかなければならないなどいいことばかりではありません。しかし、雪道の運転も結構楽しいのです。20代の頃数年間カナダに駐在していたので、九州に住んでいる人の中では雪道の運転には慣れている方だと思います。車がほぼ通っていない道に迂回した時はFR車の特性を活かして後輪をちょっとスライドさせたりして楽しめました。



雪は視認できるので良いのですが路面が湿って気温が氷点下になる朝晩は道路がブラックアイスになっている可能性があるので気をつけて運転する必要があります。通常1時間40分位の通勤時間よりも長い通勤時間となります。

日田土木事務所の管内には、建築士会玖珠支部と日田支部が含まれているので両支部の活動にお邪魔させていただいています。建築士会に所属している恩恵がこんな所にもあります。

まずは、総会後の懇親会に参加させて貰いました。ここ数年新型コロナの影響で飲み会が自粛されていましたが両支部とも今年度は行うということでしたので宿を取り、懇親会から～2次会と久しぶりに会う方や初めての方達と夜が更けるまで楽しいときを過ごしました。

やっぱりと思われる方は多いと思いますが、決して飲んでいるばかりではないですよ。

12月には日田支部が後援としてブース開設する『木と暮らしのフェア』に参加して、折り紙建築体験、ストローハウス展示、木片展示、木材継手展示を行いました。折り紙建築体験、ストローハウス展示は小中学生を中心に折り紙建築に挑戦していました。今回は、女性士会員の提案で完成した折り紙建築にリボンやシールでデコレーションができるように準備したところ、女の子に好評で普段の折り紙建築の

完成品とはひと味違ったきらびやかな物となりました。



木材継手展示には、鎌継ぎ、台持ち継ぎ、竿車知継ぎなど14種ほどを展示しました。見学されている方にこうやったら外れますよと実演すると「おー、すごいね」と大工さんの技術に感心されていて、誇らしく思いました。継手のテーブルには大工道具も一緒に展示しました。

一般の方に交じて若い建築士会員も木組みをバラして組み直していました。私も久し振りに継手に触れ、



あれっ、これってどうなっているんだっけと迷いましたがなんとかできました。(汗)

日田支部のレクリエーションにも声をかけていただき、11月には建築士会員と協賛会員による第32回親善ゴルフ大会や2月には第43回親善ボーリング大

会に参加しました。どちらも50人ほどが参加していて盛況に開催され、どちらも新型コロナでの中断はあったものの数十回続いていて支部会員の交流が図られています。



最近、複数の支部で連携して公益事業等に取り組んでいる例がありますが、居住地や職場の関係で所属支部以外の支部活動に参加することも建築士会の活動活性化につながるのではないかと思います。

MY WORK

- ★建物名称 令和こどもの森
- ★建築場所 大分県日田市
- ★用途 幼保連携型認定こども園
- ★床面積 558.73㎡
- ★構造 木造平屋建て
- ★設計者 株式会社ヒグチ設計
- ★施工者 株式会社江藤工務店
- ★設計趣旨

外観はシンプルな切妻屋根を基調とし、建物中央部に突出した12角形のランチルームを設け大きな三角形の窓が印象的なものとした。

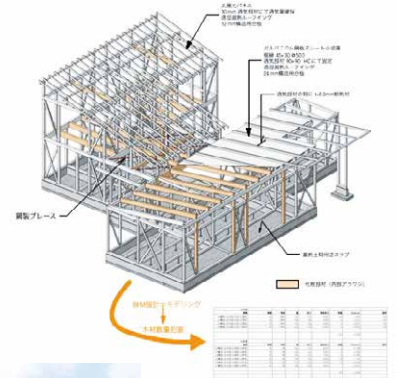
内部は構造材である木材を表し、温もりのある明るい開放的な空間となっており、ランチルームは全開口サッシを設けて園庭と一体的な利用が可能なものとなっている。

また、建物各所に隠れ家のような読書コーナーやボルダリング壁、ロフトなど園児たちの色々な遊びや体験の場を設けた。

保育室は、大きな一室を可動家具で間仕切ることのできるフレキシブルな利用を可能とし将来の児童数の変化に柔軟に対応できるものとなっている。



- ★建物名称 Y-HOUSE
- ★建築場所 大分県中津市永添
- ★用途 住宅
- ★床面積 168.32㎡
- ★構造 木造2階建
- ★設計者 HIRO建築設計工房
- ★施工者 分離発注
- ★設計趣旨



この建物の計画敷地は南北に細長い敷地で道路側に既存の倉庫が建っている。そして、道路から1.2m 低い敷地である。道路から見た時にボリュームを抑えた建物にすることと、コストを抑えることの両面からバタフライ屋根を採用した。

そして、設計するにあたり、**BM CM PD** の主要コンセプトを軸に進めた。それらはいかにコスト（ランニングとイニシャル）を押さえて効率的に設計から施工まで出来るかという課題克服の答えでもあった。

この家の主要コンセプト

- BM(Building Information Modeling)
- CM(Construction Management)
- PD(PassiveDesign)



MY WORK

文化財建造物修理風景

国指定重要文化財建造物建具修理

★建築場所 大分県宇佐市、京都府京都市

★施工者 栗林建具店 栗林尚人

★設計趣旨

通常業務として一般住宅や店舗の木製建具製作等を行う一方、文化財建造物の修復及び保存修理等も行っています。文化財建造物修理に携わることで得た知見、知識を生かし、より長持ちする物をつくることを目指しています。

写真①～③は家を支える柱(束柱)の取替風景で、天然乾燥の材料を用い大引き材にホソ送り込みし、礎石に対して光付けを行っています。写真④～⑥は、国指定重要文化財建造物内の建具の保存修理の案件です。

破損箇所はホゾ先や横棧の面部分で、ホゾ先の修理はホゾ長さ同程度を既存材に掘り込んで作り出し、面部分は横棧木口より蟻にて送り込んでいます。既存材と新材(縋い材)の着色(古色塗り)前の貴重な写真となっています。材料としては、樹齢278年(除伐時)の桧(木曽)を使用しています。



★建物名称 K様邸 改修工事

★竣工 令和4年1月

★建築場所 大分県由布市

★用途 別荘

★構造・面積 1F S造155.00㎡
2F木+S造 44.49㎡

★設計者 non design office

★施工者 有限会社アラカワハウス

★建築主 個人

★インテリアデザイン 株式会社Cocoon

★設計趣旨

都市からのアクセスの良さと豊かな大自然を求め、建築主が探し当てた敷地は、湯布院を一望できる場所に付む。かつてアトリエとして使われていた建物は独特な形状と、斜面地を最大限生かした築27年の建物である。

建築主からの要望は、年数回大切な人と訪れるため、新たなゲストルーム新設と設備の更新を一番に希望された。また眺望とは裏腹に隣人からの目線や防犯対策を施し、それらが建物意匠に影響しないことを望まれた。

本計画は当初のアトリエ部分を区切り2つのゲストルームとマスターベッドルームを新設。美しい眺望を楽しみながら会話の弾むLDKは、勾配天井を活かした大空間であり各個室はすべてLDKを介すことで、個々が自然と顔を合わせ笑顔が生まれる動線とした。昼



夜を問わず美しい景色を眺めながら、会話が弾む空間構成は光や音、色調、空調など細部にまでこだわった。特に照明計画では、大空間を生かした広がりや温かさを意識し、ガラスの内部反などに考慮し、高い位置に間接照明を配置することで、一番の眺望を最大限楽しめる構成とした。竣工後建築主のご厚意で改修建物にて食事から宿泊までご招待いただき、設計士としての最高の経験ができ、これからの設計業務の活力になった。

BOOK My Best Book

マイベストブック

『もの見方が変わる 座右の寓話』

著者：戸田智弘

大支部 甲斐 啓大

この本はタイトルの通り、もの見方が変わり、頭の中を柔軟にするのに役立ちます。

建築業務では常に学び、経験を積んでいくことが大切ですが、一方で経験にとらわれすぎて頭でっかちになってしまうことがあります。そんなときにはこの本のことを思い出し、経験を客観視することで自分の糧としています。

寓話は77と実に豊富で、その時の経験に合った話がきくと見つかります。

目の前の約束にとらわれて本当に大事なものを見失う「夫婦と三つの餅」、立ち止まることで動いていたときに見えなかったものが見えてくる「目をなくしたカバ」、視点を変えるコンサルの重要性がわかる「ゴーグルをつけれ」、先を読む力の価値を教えてくれる「2ズウォッティのモイシュ」。私が読んでいた時の体験と重なったものはより面白く感じました。次に読み返した時は、また他の話に惹かれることでしょう。

他にも「北風と太陽」で太陽が旅人の服を脱がすのは有名ですが、北風が太陽に勝つ、北風の目線の話はなかなか聞いたことはありません。こういった話と教訓が収録されているのもこの本の面白いところです。

最後に、これは私がスマホアプリ「Audible」を使って読んだ初めての本です。移動中の空き時間の活用法として実験的に導入してみたのですが、朗読の専門の方の声で収録されており、大変聞きやすくあっという間に読み終わりました。一つ難点があるとしたら、気になる所の読み返しが困難なところ。読んだその日の夕食で家族に話してアウトプットした話は割と覚えていますが、それ以外の話を読み返すには苦労します。今回はいいタイミングに執筆するお話を頂き、感謝します。



『子育て〇×図鑑』

著者：てい先生

大支部 宮崎 裕

著者であるてい先生は現役の保育士であり、当書には、著者の保育現場での経験を活かした子育ての効果的な方法が脳科学や心理学などの科学的根拠に基づいて記述されています。

当書に記述のある効果的な方法を一点ご紹介します。子どもが言うことを聞かないとき、例えば子どもと公園に遊びに行きなかなか帰ってくれないときに「置いて行くからね。もう知らないよ。勝手にしなさい」など、言ってしまう方も多いと思います。このような言い方は子どもに不安や恐怖を与えてしまい、こうした状況が続くと自己肯定感や思考力が下がり、人を信用しなくなり、自分の気持ちを表現できなくなるなどの悪影響が出てきます。

解決方法として、3つあります。

1つ目は、子どもに選択肢を示してあげること。「帰るよ」と一方的な命令では子どもは拒否しやすいため、「歩いて帰るとスキップしながら帰るとどっちがいい？」と選択肢を示してあげると「帰るよ」よりはポジティブにとらえてくれます。

2つ目は、子どもが見通しを立てられるようにあらかじめ情報を伝えること。大人に予定があるように子どもにも予定があるので、「すべり台をあと3回滑ったらおうちに行こうね」など、子どもと予定を共有しておくことが大事です。

3つ目は、ポジティブな言葉に言い換えること。「おうちに帰るよ」と聞くとネガティブな感じですが、「おいしいご飯を食べにおうちに行くよ」であれば子どもは納得しやすいです。家に戻ったら「おうちに帰ってきたね。ただいま」と言えば、帰るということもきちんと理解できます。

このような効果的な方法が当書にはたくさん記述されています。子育てで苦労されている方に読んで頂ければ解決策が見つかるかもしれません。





My Best Book



マイベストブック

『公民連携まちづくり事例&解説』

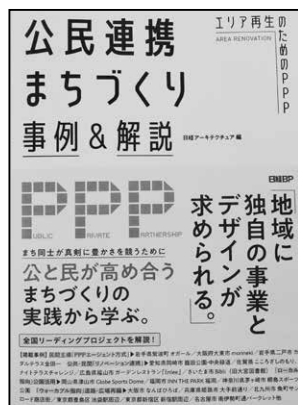
著者：日経アーキテクチュア編集／株式会社日経BP
別府支部 中原 健

本書は、行政と民間事業者が協力し合って公共性・公益性のある事業を進める「公民連携」の内、「まちづくり事業」を対象に、事例及び関連する解説をまとめたものである。

一概に「公民連携によるまちづくり」といっても、建築物の新築から道路や公園の活用まで幅広く存在していることから、その事例毎に、民間主導「PPP エージェント方式」、公共・民間「リノベーション連携」、「ローカル指向」公園活用、「ウォークアブル指向」道路・広場再編に分類し解説を行っている。

行政と民間事業者との契約方法や、運営・管理方法等様々なものが存在し、市の方針や目的、地域性を踏まえ事業手法の選択が行われる。また、ただのイベント会場になる等の一過性のものとならず、経済面においても持続可能で長く利活用されるものとなるような仕組みとすることが必要である。

「公民連携」において最も重要なことは、どのような事業を行うか検討する段階で、まちに暮らす市民と行政が共通の目的意識を持つことである。まちづくりとは行政だけで行うものではなく、市民との協調により生まれるものである。「公民連携によるまちづくり」が、まちの発展と衰退に大きく作用することが認識でき、自分のまちにできる事を考えさせられる一冊となった。



『センスは知識からはじまる』

著者：水野学／朝日新聞出版
別府支部 重田 凌汰

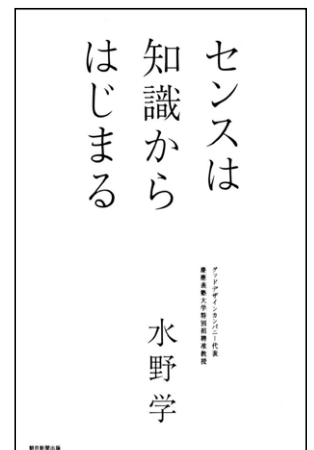
本書は、「くまモン」をはじめ、様々なジャンルのデザインやブランディングを手掛ける水野 学氏が「センス」について記した一冊になります。

私は、本書を読むまで「センス」とは、生まれ持った才能のようなものと無意識の内に認識をし、いつの間にか自分にはセンスはあまりないクリエイティブには向かない人間と自負していました。

何の気なしに本屋を散策中に本書のタイトルを見かけた時には感銘すら覚え、迷わず購入し、読んでみるとセンスとは生まれ持った能力ではなく研鑽することができることあり、また、仕事において知らないは不利ともありました。知識が重要という結論には、新鮮で非常に説得力があり、自分の無知を理解すると同時に自分のセンス（知識）を研鑽しようとも思うことが出来ました。

私は建築という分野においては、本当に多くの様々な知識を身につける必要があると認識しておりますので今後も知識を深めセンスを磨くことに努めます。

皆さんもこの本を読んで自分の「センス」を見つめなおしてみたいはいかがでしょうか。





マーボアの旅先日記 その18

顧問 井上正文

「四国の国宝建造物を巡って」

四国は大分の地からは比較的、身近に感じられる土地柄ですが、四国のそれぞれの地域で、それぞれの風土・文化が存在しています。今回は、「国宝建造物巡り」を縦糸にしつつ、それぞれの地域にまつわる「文化・風土・交通」等を横糸にしなが四国4県の紹介をしていこうと思います。

まずは、大分市内から各4県へのアプローチについて説明しましょう。アプローチの仕方は、それぞれ個人ごとに事情が異なりますので一概には決めつけられませんが、私の場合は、自家用車を使う環境にはありませんので、公共交通機関（船舶、JR、航空機）の使用を前提にお話しします。愛媛県松山市には、別府観光港からフェリーで八幡浜まで移動して、JR予讃線を使って松山に移動するか、大分市内からJRで福岡まで移動後、福岡空港から空路、松山に移動するかの、2つの手段を使いわけています。香川県への移動は、大分市内からJR日豊本線と新幹線を乗り継ぎ、岡山で在来線に乗り継いで瀬戸内海をJRで渡り、讃岐方面に移動するパターンです。

高知への移動は、大分からJR又は高速バスで福岡まで移動して、福岡空港から空路で高知空港に向かうか、讃岐エリアからJR土讃線で、高知方面に移動するパターンです。徳島への九州からの移動は、福岡空港から空路で徳島空港へのパターンが多いです。

○四国の国宝建造物

四国には以下の6カ所に国宝建造物が存在しています。残念ながら徳島県には国宝建造物はありません。

◆愛媛県 ①石手寺・二王門、②太山寺・本堂、③大宝寺・本堂

◆香川県 ④本山寺・本堂、⑤神谷（かんだに）神社・本殿

◆高知県 ⑥豊楽（ぶらく）寺・薬師堂

順を追って上記①～⑥を説明していきましょう。

- ①石手寺は松山市内にあり、四国八十八カ所51番札所ともなっており、道後温泉からも近く、多くの参拝客で賑わう寺院です。国宝指定の二王門は入母屋造りで本瓦葺き。1318年の建立とあり、鎌倉期建築の特徴が現れています。



- ②太山寺は松山市内にあり、四国八十八カ所52番札所ともなっており、豊後・臼杵の真野の長者伝説にも由来する寺院です。国宝指定の本堂は1305年の建立。入母屋造りで本瓦葺き。柱はすべて円柱で、建築様式は和様を基調としつつ、細部には大仏様も取り入れられています。



- ③大宝寺は松山市内にあり、飛鳥時代の大宝元年（701年）の創建され、この年号が寺院名の由来

となっています。本堂が国宝指定で、鎌倉時代前期の建立とされています。愛媛県最古の木造建築です。平安時代末期に見られる阿弥陀堂形式となっています。柱はすべて円柱で、組物は隅柱上部に舟肘木を用いるのみの簡素なものとなっています。



④本山寺は香川県三豊市にあり、四国八十八カ所70番札所ともなっており、807年の創建とされています。本堂が国宝指定で、寄棟造で本瓦葺です。建築様式は和様に近く、外陣の虹梁上部には大瓶束を用いるなど、細部には禅宗様を取り入れています。



⑤神谷神社は香川県坂出市にあり、五色台の白峰山の麓に位置しています。本殿は国宝に指定されており、鎌倉時代初期の1219年に再建され、流れ造りの社殿です。建造年が明らかな神社建築としては日本最古とされています。屋根は檜皮葺で、円柱は槍鉋仕上げの面取りが施されています。ただ、残念ながら昨年（2022年）の落雷のため、屋根部が大きく損傷を受け、現在、改

修工事中と聞いています。



⑥豊楽寺は、高知県長岡郡大豊町にあり、724年に行基による、創建とされています。本尊の薬師如来を安置する薬師堂が国宝に指定されています。国宝・薬師堂は12世紀ごろ（平安末期から鎌倉初期）の建立とされ、四国最古の木造建築物です。入母屋造り、柿葺きであり、組物は舟肘木で、垂木は疎垂木で全体的に簡素な構えとなっています。



○四国のその他の文化

四国には、各地に「重要伝統的建造物群保存地区（伝建地区）」が存在しており、多様な地理的景観を構成しています。ここでは、急斜面に点在する徳島県の三好市東祖谷山村落合を紹介しておきましょう。これ以外の7カ所の伝建地区にも、国宝建造物巡りに併せて巡って頂ければ幸いです。



四国地域に存在する8カ所の伝建地区は以下の通りです。

(徳島県) 美馬市脇町南町、三好市東祖谷山村落合、牟岐町出羽島、

(香川県) 丸亀市塩飽本町笠島、

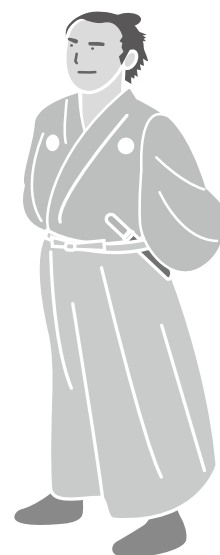
(愛媛県) 西予市宇和町卯之町、内子町八日市護国

(高知県) 室戸市吉良川町、安芸市土井廓中

これ以外にも、「八十八カ所お遍路巡り」「讃岐うどん」「砥部焼」「八幡浜ちゃんぽん」「徳島ラーメン」「日本酒(悦凱陣、川鶴、石鎚、賀儀屋、酔鯨、久礼、美丈夫・・・)」など、皆さんの興味に合わせて、四国巡りをされては如何でしょうか。

**■前号「マーボーの旅先日記、その17」
中の訂正**

前号26ページの左段の上の写真のタイトルは「日吉神社東本宮本殿」の誤りです。



事務局だより

■「新型コロナウイルス感染症関連情報」について
連合会のHPに以下の内容が掲載されております。
ご覧ください。

1. 各種講演会に関する情報
2. 建築士試験・建築士制度に関する情報
3. 各団体等への要請
4. 国土交通省の対応
5. 関連情報

■委員会活動報告及び予定

調査研究・歴史的建造物合同委員会

<第1回>

令和4年10月25日(火) コンパルホール
議題

1. ヘリテージマネージャー実地研修について
2. 関崎灯台登録記念イベントの協力方について
3. 「おおいたの職人調査リスト」、「おおいたの素材マップ」製作について
4. 第10回全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会（秋田大会）の報告
5. 大分ヘリテージマネージャーネットワークの運営について

青年女性委員会

<第3回>

令和5年1月20日(金) J:COMホルトホール大分
議題

1. 全国青年委員長会議について
2. 令和5年度「おおいた建築セミナー」の開催地（支部）について
3. 令和5年度青年女性委員会 役員について
4. 今後の予定について
5. その他

事業委員会

<第1回>

令和5年2月3日(金) コンパルホール
議題

1. 親睦活動部規則の制定（内規）について
2. 建築士の日関連事業

■事務局からのお知らせ

案内1

「建築士定期講習」について

令和5年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内いたします。（大分、中津、日田で開催予定です）建築士事務所所属の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

案内2

「監理技術者講習」の開催について

（監理技術者以外の方も受講可能）

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

【講習会日程】

○「毎月第2水曜日」に開催します。

※5月、12月は除きます。

○時 間： 8：50～16：40

〔受付8：30開始〕

※8：45～8：50の5分間に講習の運営説明があります。

○会 場：（公社）大分県建築士会会議室

○形 式：DVD講習

○定 員：各回3名程度

○受講料：WEB申込 9,500円／

窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは、日本建築士会連合会HPよりお申込ください。



案内3

「既存住宅状況調査技術者講習(更新・新規)」の開催について改正宅建法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習会を修了し、登録されることが必要です。

令和5年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内いたします。

※申込方法等詳細は、(公財)日本建築士会連合会のHPをご覧ください。WEBからでも申し込みができますので、そちらもご利用ください。

【オンライン学習(新規講習・更新講習)のご案内】

・インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて受講可能です。修了考査の解答までオンラインで完結します。

詳しくは、連合会のホームページをご覧ください。

報告1

「第1回支部長・支部事務局員・委員長合同会議」について

令和4年9月29日(木)に、コンパルホールにおいて本年度第1回支部長・支部事務局員・委員長合同会議が開催されました。

会議に先立ち、林・小代会計事務所の林浩治氏を講師に迎えてインボイス制度についての勉強会がありました。

引き続き次の議案について審議されいずれも承認されました。

1. 公益目的事業(各支部・委員会)の説明
2. 各委員会の委員構成及び事業計画について
3. 永年会員の会費減免について
4. 支部事務局業務支援金について
5. よろず建築相談会の実施報告、来年度の対応検討
6. 来年度の建築セミナーの開催地について
7. 空き家マッチングチームについて
8. 報告事項・今後の主な行事



報告2

「第3回理事会」について

令和4年12月21日(水)に、アートホテルにおいて第3回理事会が開催され次の議案について審議されいずれも承認されました。

1. 令和4年度事業執行状況(11月末)
2. 令和4年度収支決算見込について(10月末)
3. 令和4年度支部公益事業執行状況について(10月末)
4. 代表理事及び業務執行理事の活動報告について
5. 公益事業役務費・報償費(内規)について
6. 大分県建築士会の財務・会員数の状況と今後の対策について
7. 令和5年度通常総会日程について
8. 会員会費規約の改定について
9. その他について(協議・報告)

報告3

「おおいた建築セミナーin高田」について

令和4年11月26日(土)に、「おおいた建築セミナーin高田」が、別府支部主催で、高田支部と連携して開催されました。

大分県立香々地青少年の家に集合し、開会式の後、「屋山城主吉弘統幸の興亡」の演題で、栄法寺前住職 大畑雅英氏(元県立高田高校 校長)による基調講演がありました。

その後3つの分科会に分かれ、昭和の町と別府竹細工で用の美を体感しました。

第1分科会の「昭和の町写真大会」では、5チームに分かれて昭和を感じた写真撮影をし、懇親会の場で参加者による投票を行い、Aチーム(別府・宇佐合同チーム)がグランプリに輝きました。

第2分科会の「香り×別府竹細工で用の美体験」では、芳香蒸留水を使いアロマディヒューザーを作りました。

第3分科会の「昭和×別府竹細工で用の美体験」では、昭和の駄菓子を詰める竹籠づくりをしました。共に竹細工の奥の深さや、繊細さを体験しました。18時からは、懇親会が開催され、久しぶりの出会いを喜んだり、初参加者も戸惑いながら交流の輪に加わって、時が経つのを忘れる程の盛り上がりとなり

ました。

さらに、21時から夜なべ談義に移り心行くまで交流を深めました。

次日、朝食を済ませて、流れ解散しました。

報告4

「建築甲子園」の審査結果について

「建築甲子園」は、工業高校、高等学校、工業高専（3年生まで）を対象とした（公社）日本建築士会連合会主催の全国設計競技です。今年度の課題は「地域のくらしーこれからの地区センター」です。

昨年10月に大分県大会選考会が開催され、応募のあった2校、5作品の中から、鶴崎工業高校の3年生小川鼓太郎君、山崎咲汰君の「別府をつなぐ移動式地区センター」が最優秀賞に選ばれ、全国大会へ進みました。

応募のあった都道府県選出の35作品の中から、ベスト11作品が選考され、さらにプレゼン動画による最終審査会が、昨年12月12日(月)に行われ、見事「女性委員長地区別賞」を受賞しました。

1月30日(月)午後に幸会長、松崎局長が鶴崎工業高校を訪問し、校長室において校長ならびに、生徒会役員同席の下に伝達式が行われました。受賞者と顧問に、表彰状と賞金、副賞が手渡されました。おめでとうございます!!

報告5

「ヘリテージマネージャーステップアップ研修」について

令和4年度に、以下の研修が実施されました。

- 第1回 令和4年7月30日(土)
豊後大野市：旧緒方村役場
- 第3回 令和4年9月28日(水)
日田市：草野家、広瀬家、行徳家
- 第4回 令和4年10月29日(土)
杵築市：伝建地区内の修復
- 第5回 令和4年11月6日(日)
大分市：「関埼灯台登録有形文化財」の登録記念イベント」
- 第7回 令和4年12月11日(日)
日出町：「襟江亭」の保存活動、調査報告書講演会
- 第2回 令和5年2月21日（火・延期）

- 大分市：柞原八幡宮修復工事
- 第6回 令和5年3月4日(土)
大分市：毛利空桑旧宅記念館の地震被害改修工事の研修
- 第9回 令和5年3月19日(日)
姫島村：「姫島ITアイランドセンター」 「古庄家」

なお、第8回に予定していましたが「保存物件修理工事概算見積の出し方」は、本年度は中止しました。

報告6

「建築物グリーン化促進事業」について

大分県からの委託を受け、環境に配慮した建築物の普及を図るため「建築物グリーン化促進事業推進小委員会」で検討を重ねてきました。

令和4年度に、以下の外部に向けた会議・研修が実施されました。

- 第1回関係団体ネットワーク会議
令和4年9月15日(木) 14：00～
コンパルホール 多目的ホール
 - 第1回技術者向け研修
令和4年10月7日(金) 13：00～
センチュリーホテル 桜の間
 - 第2回関係団体ネットワーク会議
令和4年12月15日(木) 14：00～
J:COMホルトホール大分
302、303会議室
 - 第2回技術者向け研修
令和5年1月20日(金) 13：00～
J:COMホルトホール大分 大会議室
 - 県民向けフォーラム
令和5年2月19日(日) 13：00～
トキハ会館 ローズの間
- ※上記会議・研修準備及び受託業務対応の為、「建築物グリーン化促進事業推進小委員会」を令和4年3月22日(火)から令和5年3月23日(木)まで毎月1回合計13回開催しました。
- ※来年度も実施しますので、多数の参加をお願いします。

報告7

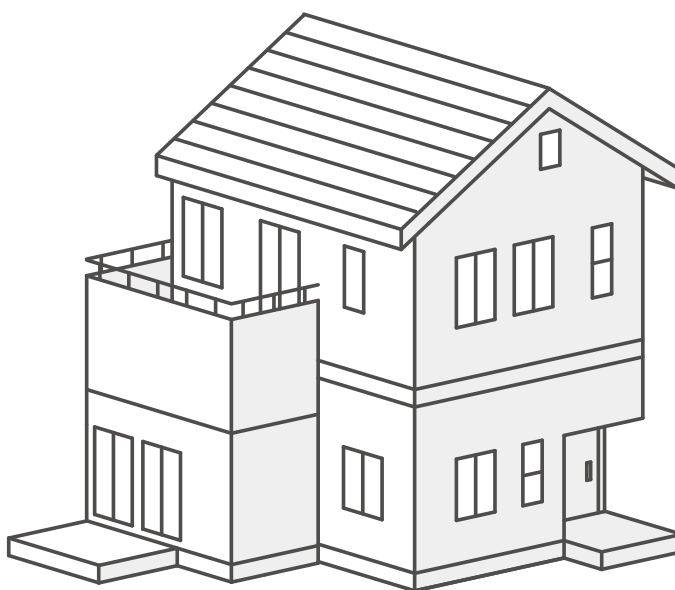
「ウクライナ人道危機救援金」の募金箱の設置について
ロシアの「ウクライナ侵攻」も1年が過ぎ、長引く戦禍の現地は悲惨な状況です。新年に入り、大分県建築士会も「ウクライナ人道危機救援金」の募金箱を事務局に設置しました。ご協力いただいた救援金は、大分市（福祉保健課）を通じて日本赤十字社へ送られ、ウクライナ及び周辺国の救援各事業に配分されます。

1月は8,094円、2月は14,332円の救援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

引き続きお心尽くしのご協力をお願いします。

会務行事案内

- 未定 第1回理事会
- 6月9日(金) 総会・永年会員表彰式・懇親会
- 6月24日(土) 九州ブロック
「建築士の集い佐賀大会」
- 10月27日(金) 全国大会「しずおか大会」



広報委員

委員長	〈豊後大野〉	高野 幸雄
委員	〈高田〉	後藤 憲二
	〈別府〉	山本 健太郎
	〈大分〉	後藤 悟
	〈大分〉	宮崎 隆博
	〈大分〉	竹宮 浩一郎
	〈大分〉	和田 恵利子
	〈佐伯〉	富松 誠
	〈日田〉	佐藤 敏孝
	〈中津〉	日高 雄介

編集委員

担当常務理事	〈豊後大野〉	高野 幸雄
部会長	〈高田〉	後藤 憲二
副部会長	〈中津〉	日高 雄介
部員	〈大分〉	高橋 大介
	〈大分〉	宮崎 裕輝
	〈別府〉	小山 秀健
	〈臼杵〉	松井 幸治
	〈津久見〉	高瀬 孝雅
	〈佐伯〉	長田 上治
	〈佐賀関〉	井上 健治
	〈豊後大野〉	工藤 禎一
	〈竹田〉	江上 石一
	〈玖珠〉	瀧石 高則
	〈日田〉	熊谷 高司
	〈宇佐〉	古市 憲

建築士おおいた

2023.3 No. 130

(非売品)

令和5年3月28日 印刷

令和5年3月29日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0617	豊後高田市高田 2145 番地 1 (株)中村建材店内	0978-22-2307
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0063	臼杵市大字望月 1029-11 藤澤建築設計内	0972-63-7589
津久見	879-2682	津久見市大字網代 5798-2	090-9076-7189
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0444	宇佐市大字石田 13 番地の 11 (株)さとう不動産設計事務所内	0978-25-6766
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会

2023 NO 130